

消防ポンプ運転マニュアル

防火ポンプ、及び、吸水ホースは自主防災倉庫内

運転準備

人数確保

最低 3 人が必要 ポンプ操作に一人 吸水パイプに一人 筒先に一人

燃料確認

混合油 3.5L 45 分運転可能

吐出量 0.53 m³毎分 40 トンの貯水槽では 1 時間 15 分稼働

真空ポンプオイル確認

2 サイクルエンジンオイルを入れる



放水弁が閉を確認

最初は締めておくこと

※空いているとポンプ稼働時にいきなり放水が始まり危険



ドレインコック閉確認

最初は締めておくこと

ドレインコック



吸水管接続

まっすぐに入れる。二人で行う

※ ねじ込み式なのでまっすぐ入れる



防火用貯水槽のマンホール蓋を開ける

※足先や手を挟まないように注意

※防火水槽は妙見東地区に 5 か所あります。

防火施設配置図を参照ください。



危険防止のためカラーコーンを設置

※水槽に落下防止のため必ず設置する



吸水管を水槽に入れる

一人が常駐し、必ずホース先が水面以下となるように保持する。

※ホースが必ず水面下にあるように保持



ホースを伸長する。

ホース根本を足で踏み、ホースをボーリングのように転がして伸長する。

ホースは蛇行させる。

※噴出を避けるためにホースはまっすぐに設置せず、蛇行させること。



ホースは蛇行させる

吐出ホースをポンプに繋ぐ

「カチッ」と音がするまで差し込む。

※必ず確実に入っていることを確認すること。



筒先をホースに繋ぐ

足でホースを踏み、筒先をカチとするまで「カチッ」と音がするまで差し込む。

※必ず確実に入っていることを確認すること。



筒先を保持する

できれば二人で保持する。

腰を落として確実に保持する。かなりの反動がある。

※猛火で、素人では鎮火が難しいと判断される場合、隣家への延焼を防ぐことを第一にする。



運転開始

燃料コックを開く



調速レバーを「吸水・始動」の位置にセット

レバーを停止位置から少し上にあげる。

※上げ過ぎると急激放水となり筒先が暴れ危険となる。



エンジン始動

足で台床を踏み、スタートのロープを最初は軽く引き、重くなったら一気に引く。ロープはゆっくり戻す。
または、スタータースイッチを押してセルスタートさせる
(セルが動かない場合は上の方法でエンジンを始動できる)



吸水レバーを引き上げる

Vベルトが張られ真空ポンプが作動する

Vベルトが回る



排水パイプから連続的に水が出るのを確認

30秒以内に水が出ない場合は問題があり、調査必要。

※30秒以上吸水しない場合は吸水作業中止する

水が出ることを確認



吸水レバーを戻す

水が出ることを確認できたらレバーを戻す

※戻さない場合、真空ポンプオイルが徐々に漏れ空となる



放水ハンドルを開く

筒先の人から放水開始の合図を見てから、放水弁ハンドルを開く
(左回り)



筒先での放水開始及び停止の合図



調速レバーを徐々に高速側に

放水確認後、必要な圧力まで調速レバーを徐々に高速側（上側）に操作する
※地区にある防火水槽40tの場合、約1時間15分で空となる。



レバーを上げると水圧が上がる



水平では最高50mくらいまで放水可能
出来れば二人で筒先を保持する

運転停止

調速レバーを低速側に戻す



放水弁を閉にする

右に回す



停止スイッチを押す



停止スイッチ

燃料コックレバーを閉にする



ドレインコックを開く

ポンプ内の水を排水する

ドレインコック



ドレインコックを閉じる

キャブレターのガソリンを抜く

次回まで長期間使用しない場合はキャブレター下のねじを開き、ガソリンを抜く

キャブレター下のねじを開き
ガソリン抜く



防火水槽の復水

防火水槽は万一のため、常に満水としておく。
防火水槽の近傍に注水のための止水栓がある。

止水栓を開く

町内にあるホース格納に併設してある T 型バールを用いる。

※中央公園の防火水槽止水栓は右回りが開。(その他の止水栓は未確認)

※復水を急激に行うと赤水の原因となるので徐々に復水する。

防火水槽用の止水栓



この止水栓は右回りが開



止水栓を閉じる

防火水槽内を確認し、満水となれば、止水栓を閉じる（左回り）

防火施設配置図

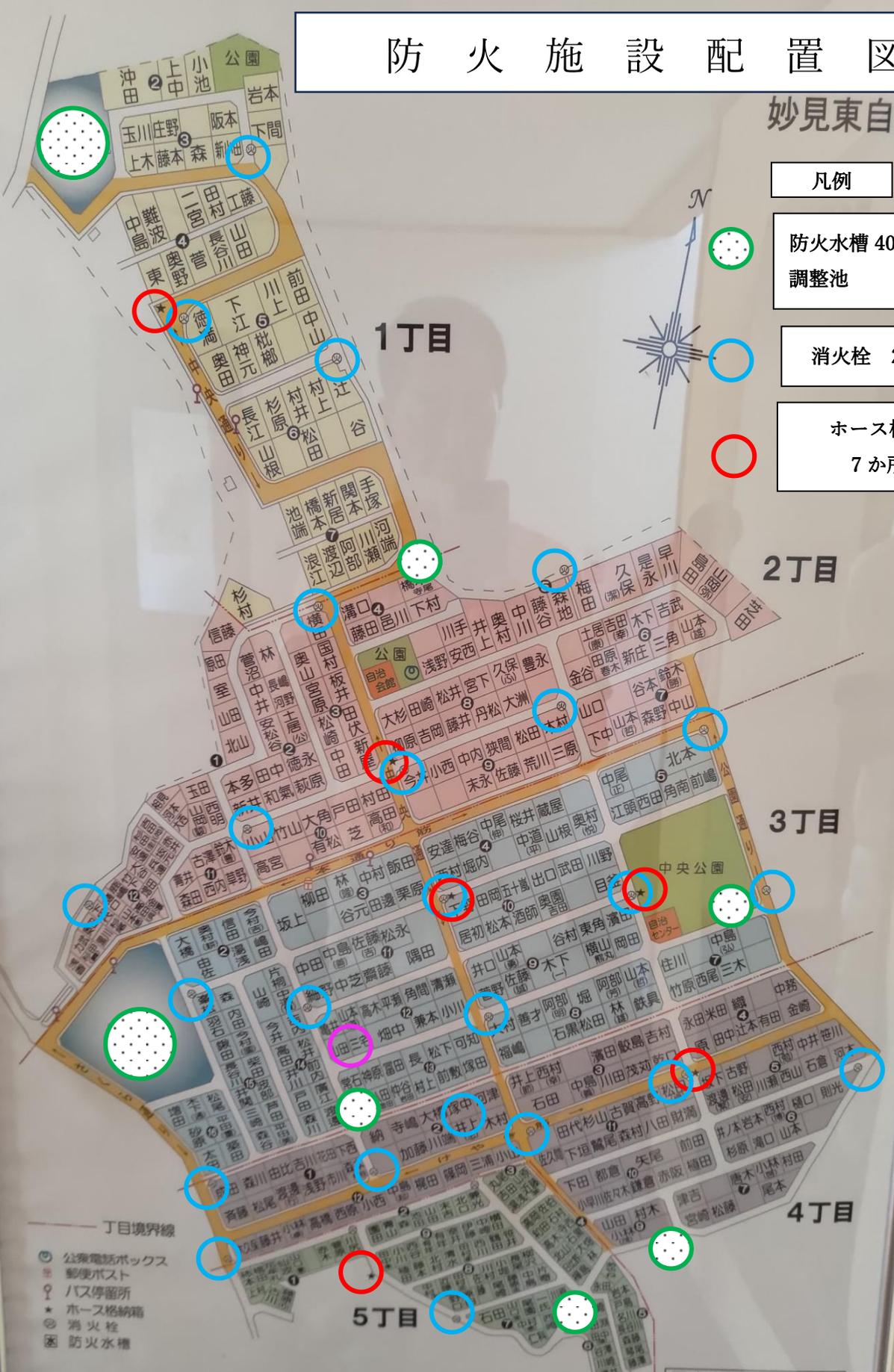
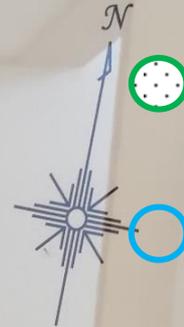
妙見東自治会

凡例

防火水槽 40t 5 か所
調整池 2 か所

消火栓 26 か所

ホース格納 7 か所



- ☎ 公衆電話ボックス
- ✉ 郵便ポスト
- ♀ バス停留所
- ★ ホース格納箱
- ⊙ 消火栓
- ⊕ 防火水槽

平成18年3月1日現在